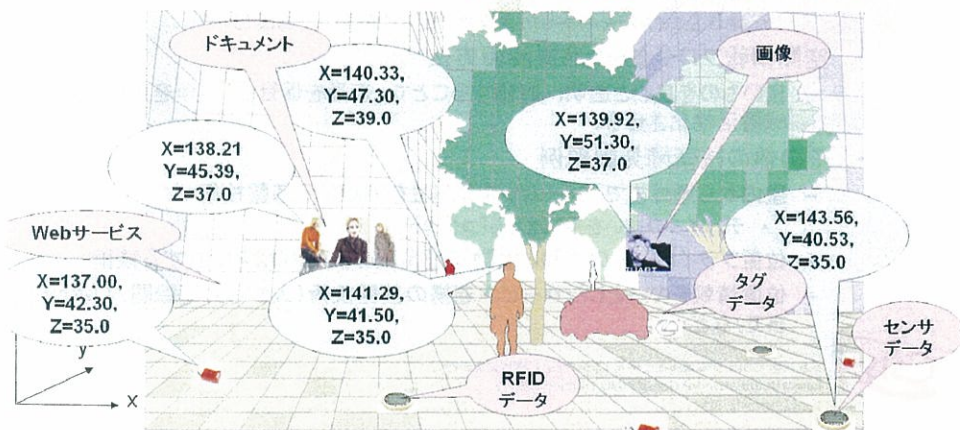
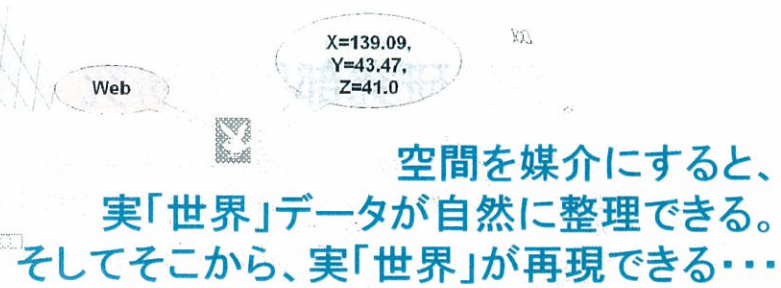
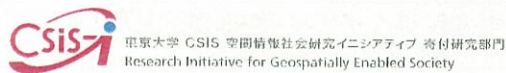


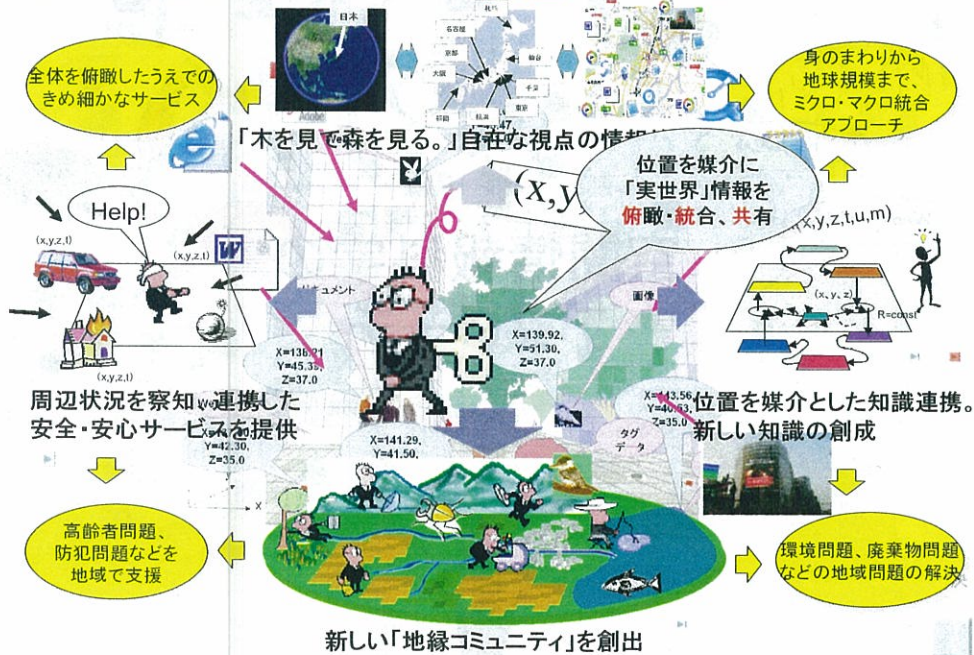
寄付研究部門 「空間情報社会研究イニシアティブ」 の活動

柴崎 亮介

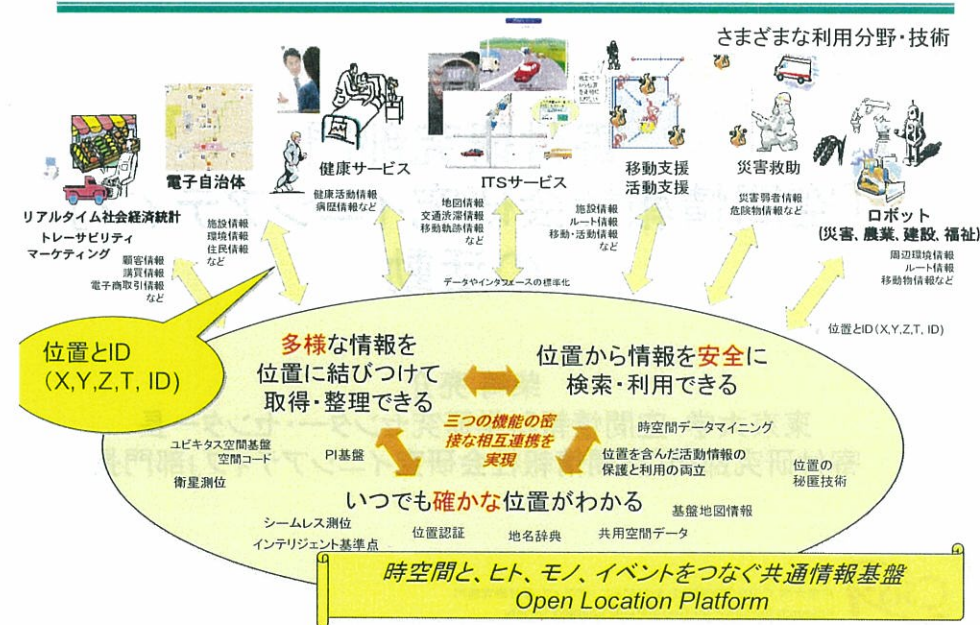
東京大学・空間情報科学研究センター・センター長
寄付研究部門「空間情報社会研究イニシアティブ」部門長



空間情報技術がもたらす価値



全体構想：連携のための共通基盤



寄付研究部門のタスク

- 政策提言や政策効果のモニタリングのための基盤を作る。
- 国土の空間情報基盤構築・更新を支援する。
- 地理空間情報を産業としての立ち上げを支援する。
- アウトリーチ活動を行う。

寄付研究部門の研究

- 産官学が連携した空間情報のインフラ構築に関する研究
 - 共通基盤地図の更新技術、地名辞典の更新技術と、共同化のビジネスモデル
 - 国、自治体、民間との連携スキームの開発と、地域の実情に応じた柔軟な戦略オプション
 - 地理空間情報を利用した行政サービスの効率化、高度化
- 空間情報プロダクトの品質評価方法
 - 良いものを良いと透明に評価することで、流通を促進し、競争を良い意味で一層活性化させる。
- その他の技術開発課題例
 - 屋内から屋外まで、シームレスな測位を実現する基盤技術
 - デバイスの違いを乗り越える「コグニティブ測位」
 - 位置プライバシーの保護と活動履歴情報の高次利用を両立する技術
 - 位置情報をキーとしたサービス連携の基盤技術(人から交通機関、ロボットまで)など...